

【注意事項】

1. ディスクパッドの間にローター或いはスペーサーが挟まっていない状態では絶対にキャリパーを操作しないで下さい。オイルが本体とピストンの間から漏れ、ブレーキの機能が失われる恐れがあります。
2. R1 Disc Brake はメンテナンスフリーです。絶対に本体ピストンの分解及びオイル交換は行わないで下さい。
3. ブレーキング後はローターが高温になりますので、手や体に触れないように注意して下さい。ブレーキパッド、ローターに油脂が付かないように注意して下さい。パッドに油が付いた場合は新しいパッドに交換して下さい。
4. R1 Disc Brake はロードバイク及びシクロクロスバイク(STIタイプレバー)用に設計されています。
(MTB/Downhill bike等の使用には十分な制動力が得られません。)

【取付方法】

1. 弊社販売の「R1 Disc Brake」はφ160mmローターを基本仕様といたしております。
取付けには付属のマウントアダプターをご使用下さい。フォーク、フレームによってはアダプターを必要としない場合もあります。詳しくは、お買い求めになられた販売店或いはフレームメーカー等にお問い合わせ下さい。
本体、マウントアダプター、ボルト、ワッシャー等の取付けは photo-1. photo-2 を参照ください。
2. アダプターを介さずに直接取り付けるときは付属の短いボルトをご使用下さい。付属のR付ワッシャーは取付ボルトのセンター調節を行います。マウント側のセンター位置精度に問題が無い場合は必要としません。
3. 本体取り付け後、ワイヤー調節ネジを本体根元までねじ込み ブレーキワイヤーを挿入して下さい。
4. 操作アームの「Rear lock knob」を反時計方向にアームが止まるまで回し込んで下さい。
5. インナーケーブルを強く引き、操作アーム先端のインナー固定プレートでしっかりと固定して下さい。
(締め付けトルク: 6~8 Nm / 60~80kgf・cm)
6. ワイヤー調節ネジでインナーの弛みをなくすように調節してください。
7. ブレーキレバーを引いて、パッドクリアランスを確認してください。
「Rear lock knob」を回してパッドとローターのクリアランスを調節し、適切なブレーキレバーの引き具合に合わせてください。
8. 一定期間のライディングによりブレーキパッドは摩耗します。摩耗に依りパッドクリアランスが大きくなった時は「Rear lock knob」を時計方向に回して適切なクリアランスに再調整してください。
9. 新しいブレーキパッドに交換したときは再度ブレーキ調整を行って下さい。

【備考】

1. ディスクブレーキパッドはシマノ社製 (A-Type) と互換性があります。
2. R1 Disc Brake はミネラルオイルを使用しています。
尚、オイルの交換は不要ですので、絶対にご自分では行わないでください。
3. オイル交換はメーカーにて有償にて行いますので、弊社までお問い合わせください。
4. ブレーキパッドは厚みが1mm(鉄板部を除く)以下になった時は、新しいパッドに交換して下さい。

【警告】

- R1 Disc Brake の保証期間はご購入日より1年といたします。ただし、
- ・ 材質或いは製造上の不具合を起因とする不良品以外は保証対象とはなりません。
 - ・ 事故・不適切な使用、或いは環境汚染・塩害などにより発生した欠陥は保証対象外です。
 - ・ 通常の使用において生じた品質の劣化・摩耗などは保証の範囲ではありません。
(仕様・価格などは予告なく変更する場合があります。)



photo-1.

【注意】

R付ワッシャーは写真の位置に取り付けて下さい。
間違えるとブレーキが正しく機能しません。
(垂直方向角度調節機能)

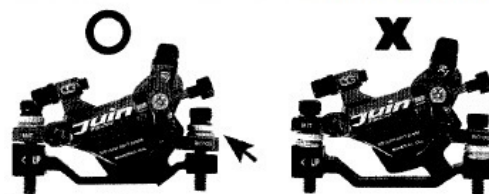


photo-2.